

「第3回日本・モンゴル学生フォーラム」 参加者 募集要項

1. 事業概要

(1) 概要

「日本・モンゴル学生フォーラム」は、令和4年度に日・モンゴル外交関係樹立50周年記念事業・青少年交流推進年記念事業として実施されました。その後、令和4年11月の日・モンゴル首脳会談の際に発出した共同声明で、両首脳は、「両国国民の交流や相互理解の深化を引き続き促進し」、「特に次世代を担う両国の若者の交流の深化を図っていく」ことを確認しました。また、同共同声明の付属文書である日本とモンゴルの行動計画には、「日本・モンゴル学生フォーラム」を含む青少年等の人的交流事業促進のための方策の継続・強化が盛り込まれました。

これを踏まえ、令和5年度に引き続き、日本とモンゴルの関係促進の礎である国民間の交流・相互理解を深めるとともに、特に若い世代の関心を掘り起こし、若者同士の協力関係を醸成することを目的として、両国の学生が共通の課題について議論する、「第3回日本・モンゴル学生フォーラム」を実施することとなりました。

「第3回日本・モンゴル学生フォーラム」では、日本人学生及び日本に留学するモンゴル人学生が、「日モの若い英知を結集する。困難を可能性に転換しよう!」というテーマの下で、両国関係発展のための課題について、2日間全6講座のオンラインでの事前学習を経た上で、2泊3日の栃木県での合宿で、テーマごとに分かれたワークショップにおけるグループ討論を行い、未来図を描いて全体会で発表します。また、合宿では、地域の取組視察をするほか、日モ文化の交流・体験等の時間を共に過ごします。

なお、本フォーラムの一部交流・体験活動においては、前回の学生フォーラムに参加した学生有志による学生準備委員会「日モ学生フォーラムSC~2024~」が、企画・運営に携わります。

また、参加者の安全を確保するため、感染症やその他不測事態の状況等によっては、直前でプログラムを中止又は内容を変更する場合がございますので、予め御承知おきください。

(2) 期間

ア 事前オンライン学習会：

第1回：1月18日（土曜日） 10時30分から16時15分

第2回：1月19日（日曜日）10時30分から16時15分

（両日とも講義は1コマあたり90分、3コマ実施）

イ 合宿：2025年2月22日（土曜日）から24日（月曜日・祝日）

（注）参加者の自己都合によるキャンセルにより、費用負担が発生した場合、発生した費用については、参加者御自身に負担いただきます。

(3) 合宿場所

1 泊目：モンゴリアビレッジ テンゲル

住所：〒325-0302 栃木県那須郡那須町大字高久丙1577-9

電話：0287-76-6114 ホームページ：<https://www.tenger.jp/>

2 泊目：古峯神社

住所：〒322-0101 栃木県鹿沼市草久3027

電話：0289-74-2111 ホームページ：<http://www.furumine-jinjya.jp/>

(4) 募集人数

ア 事前オンライン学習会：人数制限なし

イ 合宿：日本人20名、日本留学中のモンゴル人20名

(5) 実施・運営 外務省が委託する下記企業による実施

株式会社エイチ・アイ・エス 法人営業本部第二事業部

住所：〒163-1309 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー9F

メール：nichimo-2024@his-world.com

電話：050-1748-6829

(注) 休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。

営業日・営業時間 月曜日から金曜日 10時00分から17時00分

(注) 土曜日・日曜日・祝日休、年末年始(12月28日から1月5日)はお休みとなります。

2. プログラム

(1) 主なプログラム内容(予定)

ア 事前オンライン学習会

(i) 開会挨拶

(ii) 専門講師等によるオンライン講座

内訳：モンゴル基礎講座3コマ、日本文化講座1コマ、合宿討論テーマ別講座2コマ

① **モンゴル基礎講座編**

- ・モンゴル文化……………国立民族学博物館 人類文明誌研究部長・教授 島村 一平氏
- ・最近のモンゴル情勢と日・モンゴル関係… 外務省
- ・モンゴルとのビジネス…住友商事株式会社 建機ソリューションSBU 建機レンタル事業ユニット 国内事業チーム ライン長 藤原 弘人氏

② **日本文化講座**

- ・日本文化考察……………國學院大學 研究開発推進機構 特別招聘教授
ジョルダン・サンド氏

③ **合宿討論テーマ別講座**

- ・AIの可能性と課題……………株式会社電通デジタル 執行役員 山本覚氏
- ・内陸国の開発戦略……………Redmon合同会社 代表社員 エンフトゥル・バトスレン氏

イ 合宿

- (i) 全体会合（開会セッション）
- (ii) 主催者挨拶、アイスブレイク（「日モ学生フォーラム S C ~2024~」企画）
- (iii) 地域の取組視察
- (iv) 日本・モンゴル文化体験・交流
- (v) テーマ別ワークショップ（テーマごとに分かれ討論、プロポーザルの策定）

テーマA：

AIの可能性を探る！—持続可能な社会・経済発展に向けた活用の在り方とは？—

モンゴルは、広い草原と遊牧民というイメージや、豊富な地下資源といった点だけでは決して語れません。モンゴルの都市部は携帯電話の普及率が100%を超え、スマートフォンを使った電子決済が実用化されるなど、デジタル化が急速に発展し、AIへの関心も高まっています。モンゴル政府も、「E-Mongolia」プラットフォームを導入し、様々な行政サービスをオンラインで提供しており、AIの本格活用も遠い未来ではないかもしれません。また、2022年に日・モンゴル両国の首脳間で署名された「平和と繁栄のための特別な戦略的パートナーシップ設立に関する共同声明」や「行動計画」では、ICT・デジタル産業及びスタートアップの振興やデジタル人材の育成・交流を通じた協力が掲げられています。これらの背景を踏まえ、将来を担う皆さんが、AI技術を通じてどのような社会を目指すのか、という視点でAI活用の可能性を共に考え、提案しましょう。

テーマB：

内陸国の発展戦略を作る！—海洋国との連結に向けて—

海への出口を持たない内陸国であるモンゴルは、国際市場への距離や物流コストといった経済発展における制約を抱えています。この点、日本の円借款を活用して建設されて運営に日本企業連合が参画している「チンギス・ハーン国際空港」は、内陸国会連絡調整室のモンゴルが空を通じた地域の連結性を高める点で「自由で開かれたインド太平洋」にも資するプロジェクトであり、現在の二国間協力を象徴するものとなっています。今後、日本は自国の強みを生かして内陸国の課題を克服するためにどのような協力ができるのでしょうか。また、内陸国であるモンゴルと海洋国である日本との連結は、両国の発展にとってどのような効果をもたらし得るのでしょうか。共に考えてみましょう。

- (vi) 全体会合（閉会セッション）
各グループのプロポーザル発表、講評等

(2) 合宿の事前準備・プログラム中の活動・事後活動

ア 事前準備

- (i) 全2回の事前オンライン学習会へ参加
- (ii) 事前オンライン学習会後のアンケート提出

イ 合宿中の活動

- (i) 意見交換等に積極的に参加し、議論に貢献
- (ii) 参加者間のグループワークと報告会での発表
- (iii) 地域の取組視察（那須高原りんどう湖ファミリー牧場における農牧業視察を予定）

(iv) モンゴル文化体験・交流（「日モ学生フォーラムSC～2024～」企画）

(v) 日本文化体験・交流（「日モ学生フォーラムSC～2024～」企画）

ウ 事後活動

事後アンケートの提出

他：本プログラムに関する情報や感想を、#モンゴル、#日・モ学生フォーラム、等のキーワードにて御自身のSNSアカウント等で発信することを歓迎いたします。

3. 参加申し込み

(1) 参加条件 本事業の趣旨を理解した上で参加できる者を対象とします。

ア 事前オンライン学習会・合宿参加者 共通

(i) 参加時に日本またはモンゴル国籍を有する学生であること。

(年齢原則18歳から28歳) (注1)

(ii) 日本語での意思疎通が可能な者

(iii) 本プログラム中に撮影した画像や映像を外務省のホームページ等に掲載する事について同意すること（事前オンライン学習会時に撮影をした集合写真等は本プログラムの公式Facebookページ等に掲載させて頂く予定です。）

イ 合宿参加者

(i) 全2回の事前オンライン学習会全てに参加し、事後アンケートに回答した者

(ii) 申込時点で日本国内の大学、大学院、高等専門学校、短期大学、専門学校等に所属している者

(iii) 心身ともに健康であること (注2)

(iv) 規律ある団体行動ができ、プログラム参加上のルール（自由行動不可、無断外出禁止等）に従うこと

(v) 本事業の趣旨・目的を理解し、意見交換や各種プログラム等に積極的に参加し、議論に貢献する意欲を有すること

(vi) 「IV. 本プログラム参加における責任範囲」に同意すること

(vii) プログラム内容における手配および参加者との連絡のために必要な範囲内での外務省、協力企業、運送・宿泊機関、提携の団体等への個人情報の提供について同意すること

(viii) 合宿の全日程に参加できる者

(注1) 学生であること、日本又はモンゴル国籍を所有していることについて証明書等にて確認させていただきます。

(注2) 本プログラムは集団行動であり、また多忙なプログラムスケジュールにも耐えうる体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は原則として参加は認められません。

(2) プログラム費用

ア 本事業負担

事前オンライン学習会費用、合宿時の最寄駅から宿泊場所までの往復交通費(注)、合宿中の食費・宿泊費・交通費、旅行傷害保険料
(注) 最寄駅：往路は那須塩原駅より、復路は鹿沼駅まで送迎バスを手配します。

<詳細>

- ・ 宿泊場所： 2月22日（土曜日）から24日（月曜日・祝日）【2泊3日】
1泊目 モンゴリアビレッジ テンゲル泊（3～5名で一部屋を予定）
2泊目 古峯神社泊（複数名で一部屋を予定）
- ・ 食事回数： 朝2回、昼2回、夕2回（1日目の昼食は各自購入）
- ・ 添乗員： 全行程同行いたします。
- ・ 旅行傷害保険： 個人用保険タイプ（自宅から帰宅）補償タイプ（死亡後遺傷害850万円、入院保険日額6,500円、通院保険日額3,000円、個人賠償責任保険1,000万、携行品損害保険（自己負担額3,000円）20万円、救援者費用等100万円）。

イ 参加者負担

自宅から最寄駅（注）までの往復交通費、及び現地集合の場合自宅から宿泊場所までの往復交通費、前泊または後泊が必要となる場合の宿泊費、ホテル宿泊時に発生する宿泊費以外の個人的経費、電話、クリーニング等）、私的な買い物の費用、本事業で費用負担する旅行傷害保険とは別に参加者が任意で加入する保険料等、参加決定後の自己都合によるキャンセルで発生する費用、その他本事業負担に含まれない費用。

(注) 最寄駅：那須塩原駅（集合）、鹿沼駅（解散）

(3) 応募方法 下記URLのページよりお申込みください。

お申込みページURL：<https://forms.gle/SDkHGrLXD6fgRGwM9>

応募締め切り：2025年1月13日（月曜日・祝日）

(4) 選考結果通知

合宿の参加者は上限がある為、予定の人員を超える参加希望があった場合は、実施・運営業者にて合宿参加学生を選抜し、結果を合学生にお知らせします。選考結果の通知は事前オンライン学習会実施後に行います。

(注) 応募の内容について、詳細をお電話にてお問い合わせする場合があります。

(注) 選定理由を含む合宿参加の可否に係る個別のお問合せには、お答えできません。

(今後の予定)

2025年1月13日（月曜日・祝日）迄 参加者募集

2025年1月16日（木曜日）迄 参加者へ事前オンライン学習会の御案内（講義URL送信）

2025年1月18日（土曜日）、1月19日（日曜日） 事前オンライン学習会の実施

2025年1月下旬 合宿参加者選考

2025年1月末頃 合宿参加者への御連絡・合宿の御案内

2025年2月22日（土曜日）から24日（月曜日・祝日） 合宿実施

4. 本プログラム参加における責任範囲

- (1) 新型コロナの感染状況等やむを得ない事由により、旅程や宿泊先が変更になる場合があります。
- (2) 合宿期間中、参加者の健康状態や行動等が不適切と判断した場合、プログラム参加を取り消す場合があります。参加取消しによって生ずる費用は、当該者に請求する場合があります。
- (3) 合宿期間中において、第三者（バス会社、ホテル等宿泊施設及びレストランを含む）及び参加者同士のいかなる行動や過失、参加者及び所持品に対する損害について、一切の責任を負いません。
- (4) 本プログラムは、新型コロナの感染状況等を確認・判断の上実施いたしますが、安全管理の責任は参加者自身にございますので、安全管理面に問題ないとお判断の上ご参加ください。
- (5) 本プログラムへ学生が参加されるに当たり、授業を休む場合の扱いについては、所属先の学校に御相談願います。

5. 本件に関するお問い合わせ

株式会社エイチ・アイ・エス 法人営業本部第二事業部 佐藤、水谷、小川

住所： 〒163-1309 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー9F

メールアドレス：nichimo-2024@his-world.com

電話： 050 - 1748 - 6829

(注) 休業日・営業時間外にお送りいただいたお問い合わせは、翌営業日以降の返信となります。

(注) 営業日・営業時間 月曜日から金曜日10時00分から17時00分

(土曜日・日曜日・祝日休、年末年始(12/28-1/5)はお休みとなります)

Facebook、Instagram で随時情報発信中

<facebook> 日本・モンゴル学生フォーラム公式SNS

<https://www.facebook.com/Japan.Mongol.50th/>

アカウント名：日本・モンゴル学生フォーラム

<Instagram> 日モ学生フォーラム S C—2024—のSNS

第2回の学生フォーラムに参加した学生有志による、学生準備委員会がInstagramで関連情報を発信しています。

https://instagram.com/jp_mn_student_forum?igshid=YmMyMTA2M2Y=

アカウント名：jp_mn_student_forum